

「小名浜の新たな魅力創造事業」かわら版

平成 26 年
12 月発行

第2回 賑わい・景観部会を開催しました！

第2回 賑わい・景観部会の概要

【日 時】平成 26 年 11 月 19 日（水）

【場 所】小名浜まちづくりステーション

【参加者】賑わい・景観部会員：16 名出席（地元住民・事業者・各行政機関のみなさん）

部会の流れ（平成26～27年度）

1. 検討テーマの確認
2. 既成市街地に賑わいを波及させるための課題共有とアイデア出し
（想定される課題は？解決するための施策は？）
3. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討①
（短期的に取り組む施策は？）
4. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討②
（施策をどの様に実現する？）
5. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討③
（施策を継続的に実施するためには？）
6. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討④
（実施施策の確認・調整）
7. とりまとめ

※議題の進捗等に応じ、開催回数を増やすこともあります

第2回部会の議題・流れ

既成市街地に賑わいを波及させるための 課題共有とアイデア出し

- ①小名浜絆まつり実態調査結果
 - ・歩行者交通量調査結果
 - ・来場者アンケート調査結果
- ②小名浜港背後地周辺における将来像
 - ・都市センターゾーン
 - ・アクアマリンパーク
 - ・（仮）竹町通り
 - ・本町通り及びタウンモールリスポ周辺
- ③前回部会結果のおさらい
- ④意見交換・とりまとめ
 - ・賑わいを波及させるための問題・課題は？
 - ・課題を解決させるための解決策は？

小名浜絆まつり実態調査結果

小名浜絆まつり実態調査の概要

➤地元での継続的なイベント開催の実現に向け、以下の基礎調査を小名浜絆まつりで実施しました。

- ①歩行者交通量調査 ②来場者アンケート調査

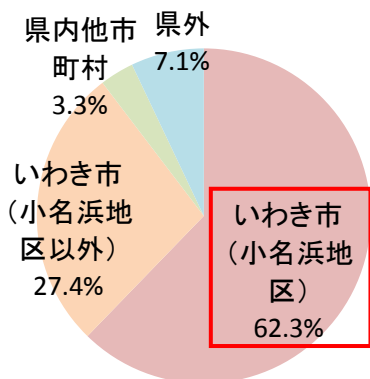
歩行者交通量調査結果

- 「小名浜絆まつり当日（10月12日）」及び「通常時休日（10月19日）」において、（仮）竹町通り及び本町通りの歩行者交通量を調査しました。
- 小名浜絆まつり当日は、通常時休日と比較し、（仮）竹町通りで約5倍、本町通りで約7倍の歩行者等が通行しており、イベントによる効果が確認されました。

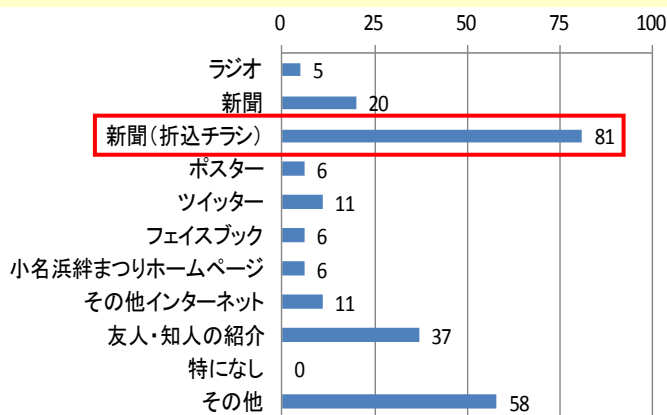


来場者アンケート調査結果

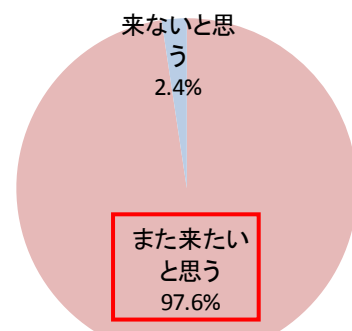
- ▶小名浜絆まつりの会場で、聞き取りにより 212 人の方にアンケートを実施しました。
- ▶回答者は、「小名浜地区住民」の方が約 6 割を占めており、主に「新聞（折込チラシ）」を情報源としていましたが、イベントの宣伝や案内が不足しているという意見もありました。
- ▶回答者のほぼ全ての方が「また来たいと思う」と回答しており、既成市街地に人を呼び込むための取り組みとして、小名浜絆まつりの効果が認められます。
- ▶回答者の約 5 割が「楽しく満足した」と回答しており、「おてんと SUN ステージ」を中心として、多くの方に楽しんでいただけたことがわかります。
- ▶回答者の約 7 割は自家用車で来場し、そのうち約 8 割がタウンモールリスポに駐車しており、駐車場の確保に課題が残りました。



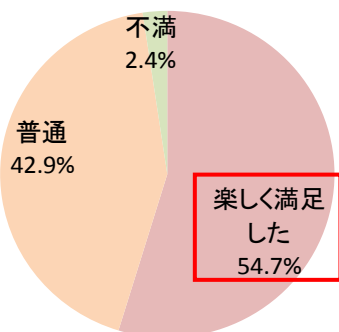
【回答者の居住地】



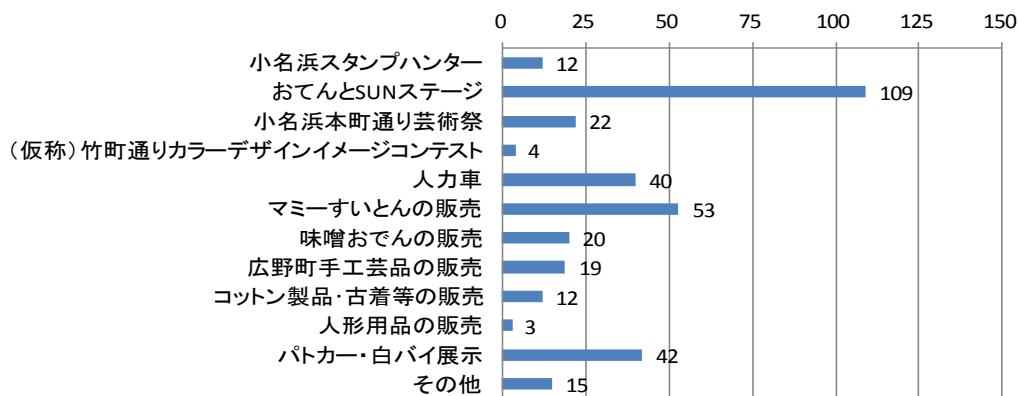
【来場のきっかけとなった情報源】



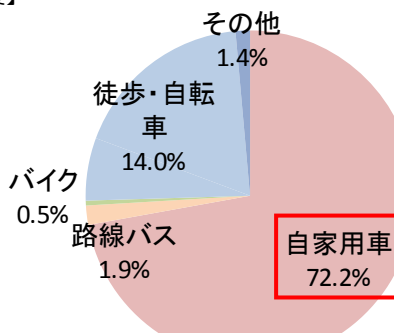
【再来場の意向】



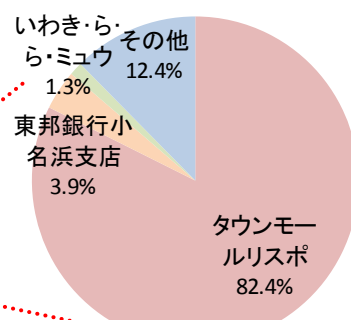
【満足度】



【良かったイベント等】



【来場の際の交通手段】



【自家用車の駐車場所】

良かったところ

- ◇楽しみにしていたので来年も是非やって欲しい
- ◇近所でこういうイベントをやってもらえると嬉しい
- ◇ステージでの演奏が良かった
- ◇マミーすいとんがおいしかった

改善してほしいところ

- ◇昨年より規模が縮小しているイメージ
- ◇もう少し規模が大きくなればいい
- ◇イベントの宣伝・案内（開催前・開催中）が不足
- ◇駐車場をもっと確保して欲しい、わかりづらい、駐車できるか心配だった
- ◇子供も楽しめるイベントがあればいい

【主な自由意見】



『賑わいを市街地へ波及させる方法』に係る意見交換

これまでの取り組みから問題・課題を共有し、今後の展開に向けたアイデアを話し合いました！

これまでの取り組みの振り返り

《蚤の市（場所：タウンモールリスポ）》

- ・小名浜地区外の方との協力体制をとっており、60年間継続して開催しているところが良い
- ・今後は、食料品販売以外の展示や出店を増やしていきたい

《小名浜絆まつり（場所：(仮)竹町通り・本町通り）》

- ・新たにプロジェクションマッピング等を仕掛け、多くの方の来場があったことが良かった
- ・来年は、メイン会場（今年はタウンモールリスポ駐車場）、本町通り、(仮)竹町通りのいずれも賑わうようにしたい

《いわき魚まつり（場所：小名浜魚市場）》

- ・試験操業や水産業の現状について広く知ってもらうためのイベントとして実施し、販売用の魚介類が完売するなど、多くの方の来場があり盛況だった

《カツオ祭やサンマ祭等の定期イベント（場所：いわき・ら・ら・ミュウ）》

- ・自分たちだけでなく、周囲の関係者を巻き込んだイベントを仕掛け、継続的に実施できているところが良い
- ・来場者の方が体験・参加できるような取り組みは好評（サンマを焼いてもらうなど）

《現在は実施していない、その他のイベント：ブルーロードフェスタ、商店会単位での盆踊り等》

- ・昔は多くの店舗が相互に協力し合えたが、現在は空き店舗も増え人手や資金の問題から、大きなイベントを多発できない状況
- ・賑わいづくりの取り組みに参加できる人をいかに見つけ、巻き込んでいくのが課題

都市センターゾーンやアクアマリンパークの賑わいを、市街地へ波及させるためのアイデア

- ・(仮)竹町通りを賑わせ、本町通りへの来訪者や店舗の増加につなげていきたい
- ・(仮)竹町通りで食事をしてもらう流れを作り、ゆくゆくは「食」に特化した商店街としたい
- ・(仮)竹町通りに新設されるポケットパークで、定期的・継続的にイベントを実施したい（仮設商店街や朝市等）
- ・周辺施設の従業員の方々にも、(仮)竹町通りを歩いてもらう機会を増やす工夫も必要
- ・イベントをやる時は、通行止めにすることも考えられる
- ・イベントを通じ、小名浜の伝統や文化も発信していきたい
- ・小名浜地区の内外問わず、様々な団体・人の参加や協力を得たい
- ・漁業関係者と商業関係者が連携し、小名浜が漁業の町であることを強く発信したい
- ・人手や資金で負担が大きくなる工夫や活動資金を得るためにイベントでの収益も必要
- ・賑わいづくりの活動ができそうな種地（空き店舗や空き地）の確保



【小名浜港背後地周辺の全体将来像】

『賑わい創出につながる景観形成』に係る意見交換

実施したい景観形成の取り組みやアイデアについて話し合いました！

賑わい創出につながる景観形成として、実施したい取り組みやアイデア

- 新たな整備が行われる通りでは、色の統一等一定のルールも必要になるのではないか
- 小名浜まちづくりステーション前の修景整備の取り組みを波及させていきたい（花壇やベンチの設置）
- 「この先に何かありそう」だと思わせるような景観をつくりだすための方策の検討
- 地元の団体等が主導となり、関係者に対して景観の取り組みを促していくことも考えられる



【小名浜まちづくり市民会議検討の本町通りの中長期的な整備イメージと小名浜まちづくりステーション前の修景整備状況】

- 景観形成は、総論としては良いが、実現に向けては地域の機運を盛り上げるなど、環境づくりが必要
- 例えば、「子どもを巻き込んだ取り組み」「人に見られているという意識づくり」等を行い、住民自らが、何ができるのかを考えていくことが必要
- 景観形成を先導していく地元組織があると良い



次回の賑わい・景観部会の予告

【賑わい・景観部会：1月21日（水）開催予定】

- 短期的（まち開きまで・まち開き後数年間）に実施すべき取り組みの選定」を行います。

問合せ

福島県いわき建設事務所

〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話：0246-24-6143

担当：安齋、森